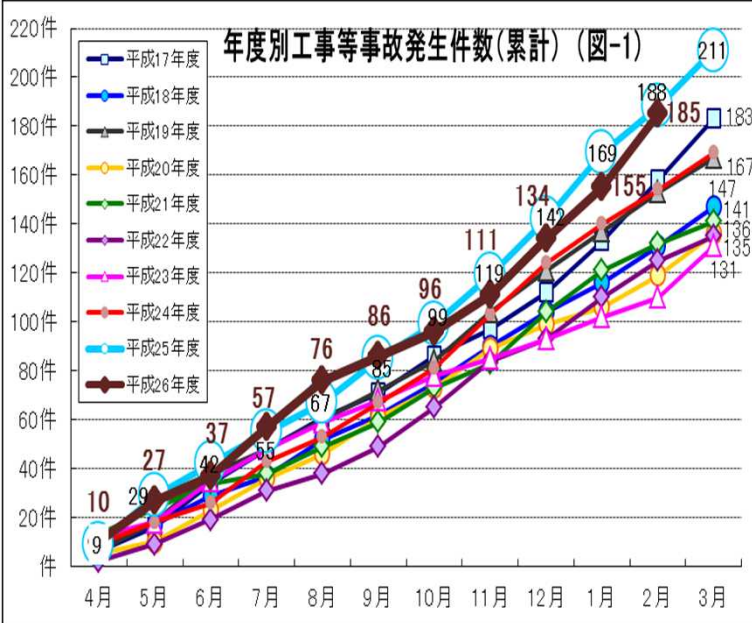


平成26年度直轄工事の事故発生状況（速報値）

注意！事故件数は昨年同様に増加中！



年度別工事等事故発生件数

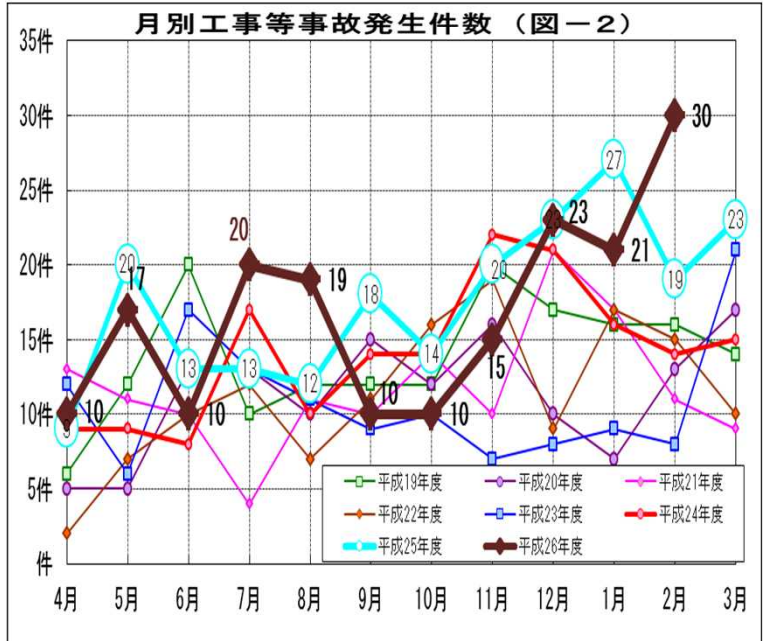
● 平成26年度工事等事故の件数は、過去最悪であった昨年度と同じペースで増加しています。このままでは、過去最悪であった昨年を上回る可能性があります。今後、引き続き工事事務事故防止対策の強化が必要となってきます
※(件数は暫定値なので、今後、かわることがあります。)

25年度		26年度	
12月	142件	12月	134件(8件減)
1月	169件	1月	155件(14件減)
2月	188件	2月	185件(3件減)

月別事故発生件数

● 右図では年度末に向けて事故の件数が増えています。特に今年度は1月から2月にかけての事故が多発しています。中でも、工事関係者事故、第三者損害の事故が増加しています。
※(数値は暫定値であり、今後、かわることもあります)

25年		26年度	
10月	14件	10月	10件
11月	20件	11月	15件
12月	23件	12月	23件
1月	27件	1月	21件(6件減)
2月	19件	2月	30件(11件増)

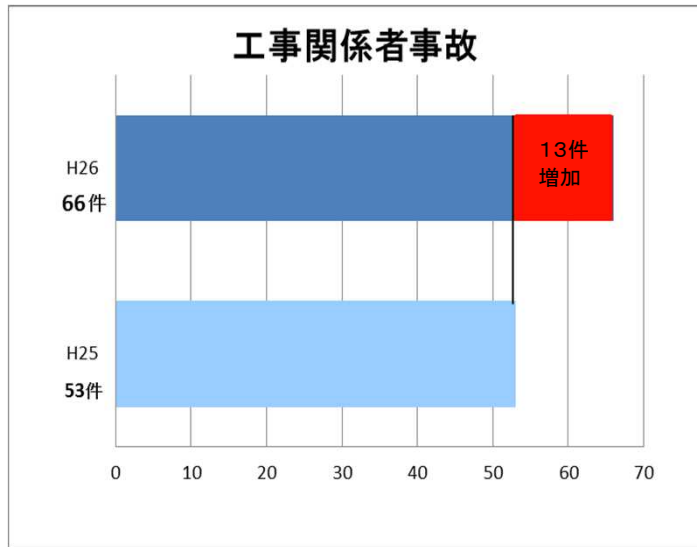


各現場の特性を把握し(事故要因)を事前に抽出し、事故防止策を講じることが重要です。例えば、地下埋設管であれば、チェックシートを使う、架空線であれば、注意喚起の明示、ヒューマンエラー防止の為に声掛け、KY活動などがありますが、これ以外にも、さまざまな事故防止策があります。これらの事故防止対策を活用し、事故0を目指しましょう

4月からは新しい年度になり、また、現場に不慣れ、初めてという、作業員も参入します。今一度、安全に対して、最大限の努力と、協力で事故を減らすように心がけてください。1件でも事故が減少するように、日々、安全にとめてください。



注意喚起を！工事関係者の事故が増加！



左図は平成26年度(2月末まで)と、平成25年度の工事関係者事故を比較したものです。

前年度に比べて13件、増加しています。怪我の程度が軽微なものから、死亡事故まで様々です。

今年度、事故の件数が増加したのも、ここに一つの原因があると考えられます。

下記に今年度におこった事故の事例を載せています。中には、死亡事故につながりかねない事例も含まれています。

工事関係者事故は単なるヒューマンエラーでなく、安全教育不足や設備・手順の不備といった潜在的・間接的要因があります。その要因を分析して、対策をとることが重要です。

注 H26については2月末までのデータです(暫定値なので件数が変わることもあります。)

工事関係者事故事例

事故の状況	怪我の程度
トンネル坑口におけるインバート盤下げのため、装葉(9.6kg)し発破したところ、坑内で作業員が発破により被災した。	頸椎挫傷 約1週間経過観察(休業3日) 左前足部挫傷 約1週間経過観察(休業3日)
水抜孔の施工のため、足場上(階段状の4段目)に設置していたボーリングマシン(約500kg)を次の足場(3段目)に移動させていたところ、制御ロープが切れ、ボーリングマシンが滑り落ち、足場上(3段目)にいた作業員を巻き込み、さらに下段の足場(2段目)まで転落した。	大腿骨骨幹部骨折(全治3~4か月)
ダンプ進入路付近で盛土材のかきあげ作業をしていたバックホウ(0.7m3級)のバケットが進入路に敷いていた鉄板を引っ掛け、その反動で鉄板上で鉄板の清掃作業をしていた作業員がうつぶせに倒れ、バケットが引っかけた鉄板に左腕を挟まれた。	左上腕開放骨折(全治3ヶ月以上)
20~30cmの高さからバランスを崩した側溝製品が跳ね落ち、作業員の左足を直撃した。作業員は安全靴を着用していたが先芯から外れた部分に当たった。	左足趾挫滅切断(約2ヶ月の休業)
現場内の補償木を伐採中、作業員が切り倒し作業をしている直径Φ200mmの木が、別の木の切り倒し作業をしている作業員の方向に倒れ、倒れた木がB作業員にあたり負傷した。	胸椎圧迫骨折(全治3ヶ月)
護岸災害復旧工事の捨て石(φ1300内外、2t~4t)設置作業において、捨て石を一旦法面に据置き、位置の微調整を行ったところ、添えていた作業員の手がワイヤーと捨て石に巻き込まれ負傷した	左示指粉碎切断(一ヶ月の加療)
道路維持工事で、除草作業中に草刈り機によって跳ね上げられた石が飛散防護板を持っていた作業員の右目に飛び込んだ。	角膜穿孔 全治40日

上記にあげたのは、全治または加療が一ヶ月以上の事故です。一步間違えば、死亡事故になりかねない事例もあります。先月号に、載せましたが死亡事故も発生しています。もう一度、たちどまって、安全を意識してください。

事故、0を目指して安全に！

